

# 第47期第2四半期連結累計期間 決算説明資料

(2012年4月1日 ~ 2012年9月30日)

株式会社 **工ノモト**

【会社名】 株式会社 **工ノモト**

【英訳名】 ENOMOTO Co.,Ltd.

【証券コード】 6928 **JASDAQ**

【URL】 <http://www.enomoto.co.jp/>

【代表者】 代表取締役社長 榎本 正昭

【問合せ先】 専務取締役 管理本部長 山崎 宏行

【E-Mail】 [ir@enomoto.co.jp](mailto:ir@enomoto.co.jp)

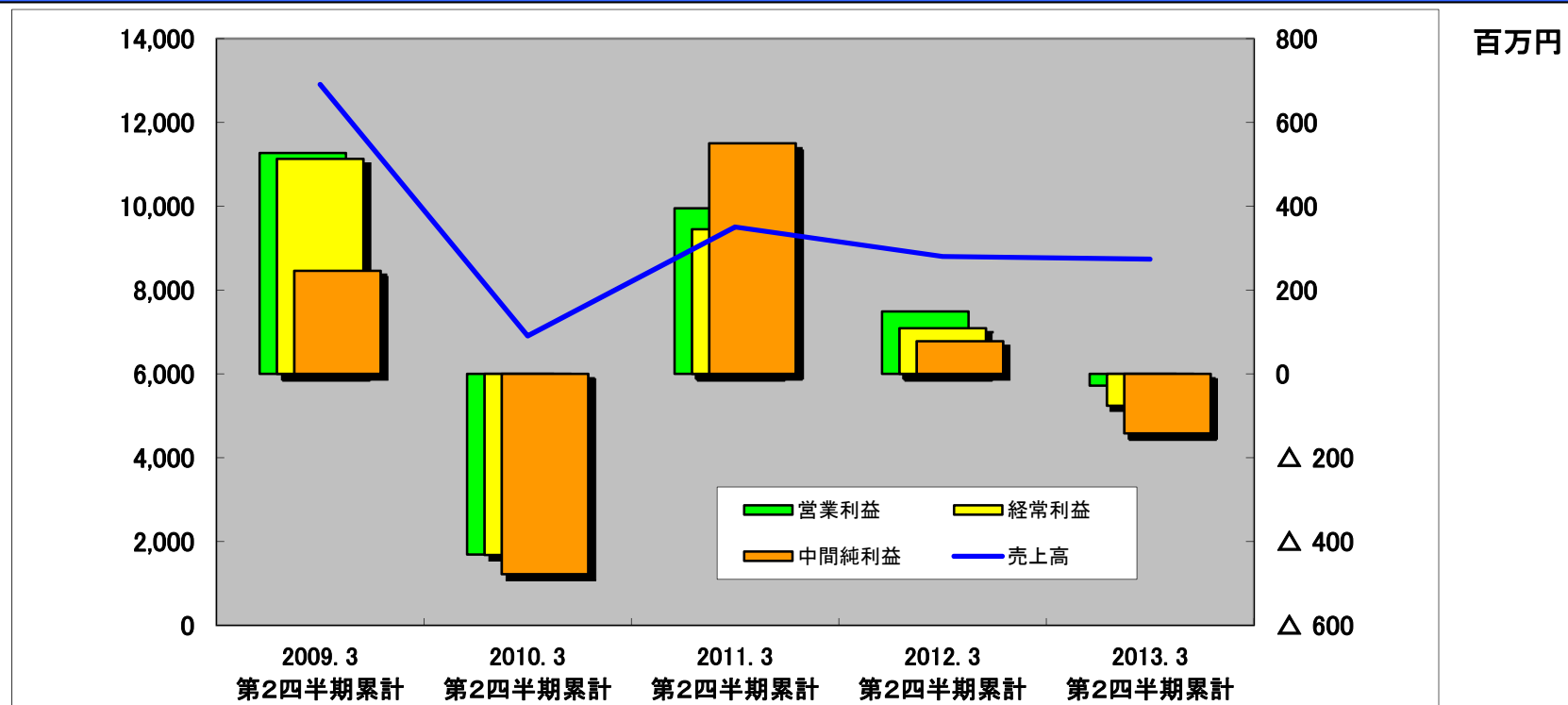
【本社所在地】 山梨県上野原市上野原8154-19

【電話番号】 0554(62)5111(代表)



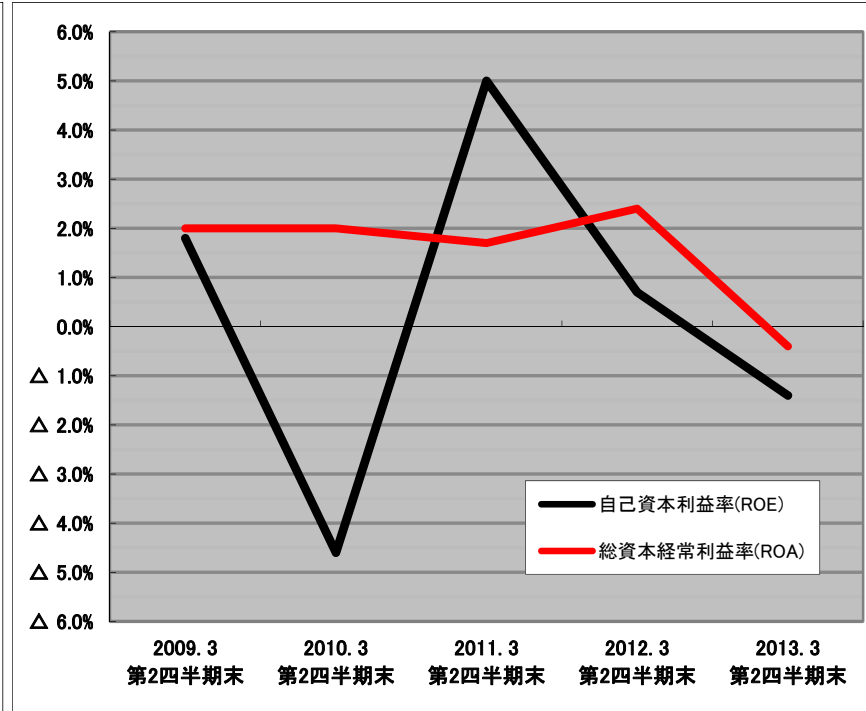
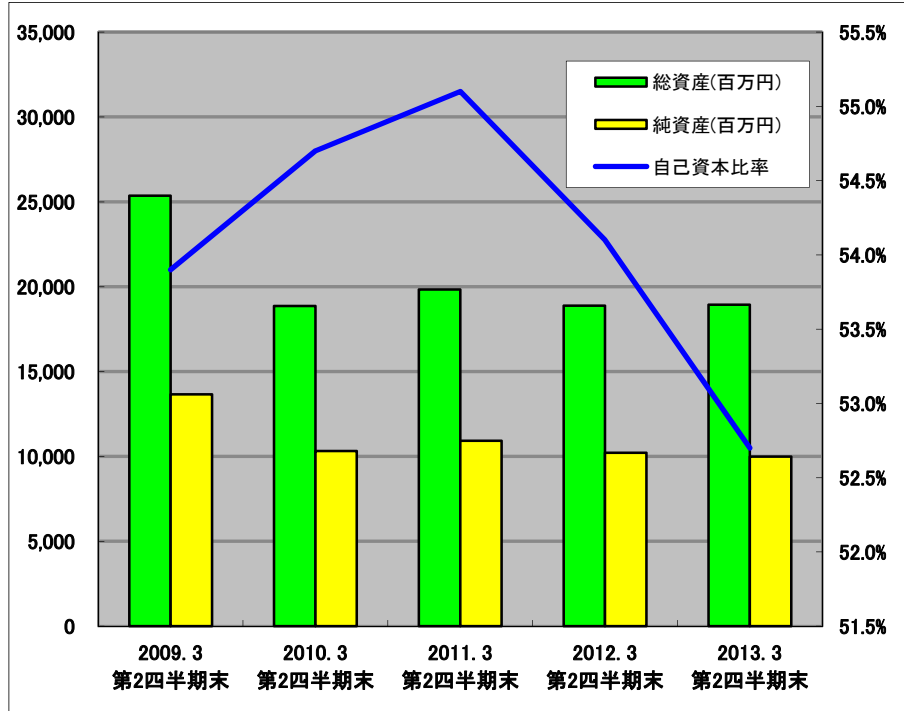
第2四半期連結累計  
期間のご報告

## ■ 連結業績の推移



	2009.3 第2四半期累計	2010.3 第2四半期累計	2011.3 第2四半期累計	2012.3 第2四半期累計	2013.3 第2四半期累計	前期比
売上高	12,903	6,907	9,505	8,800	8,737	0.7%減
営業利益	527	△ 431	395	149	△ 28	-
営業利益率	4.1%	-6.3%	4.2%	1.7%	-	-
経常利益	513	△ 432	345	109	△ 76	-
経常利益率	4.0%	-6.3%	3.6%	1.2%	-	-
四半期純利益	246	△ 478	550	78	△ 142	-
四半期純利益率	1.9%	-6.9%	5.8%	0.9%	-	-

百万円



	2011. 3 第2四半期末	2012. 3 第2四半期末	2013. 3 第2四半期末	2011. 3期末	2012. 3期末
総資産	19,834	18,889	18,939	18,606	18,351
純資産	10,923	10,213	9,986	10,211	10,103
自己資本比率	55.0%	54.0%	52.7%	54.8%	55.0%
自己資本利益率(ROE)	5.0%	0.7%	-1.4%	2.1%	0.6%
総資本経常利益率(ROA)	1.8%	2.4%	-0.4%	0.2%	0.8%

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等を背景として、緩やかな景気回復の動きが見られたものの、海外経済は、欧州の債務・金融危機や中国経済の減速、長期化する円高により、当社グループを取り巻く経営環境は厳しい状況での推移となりました。

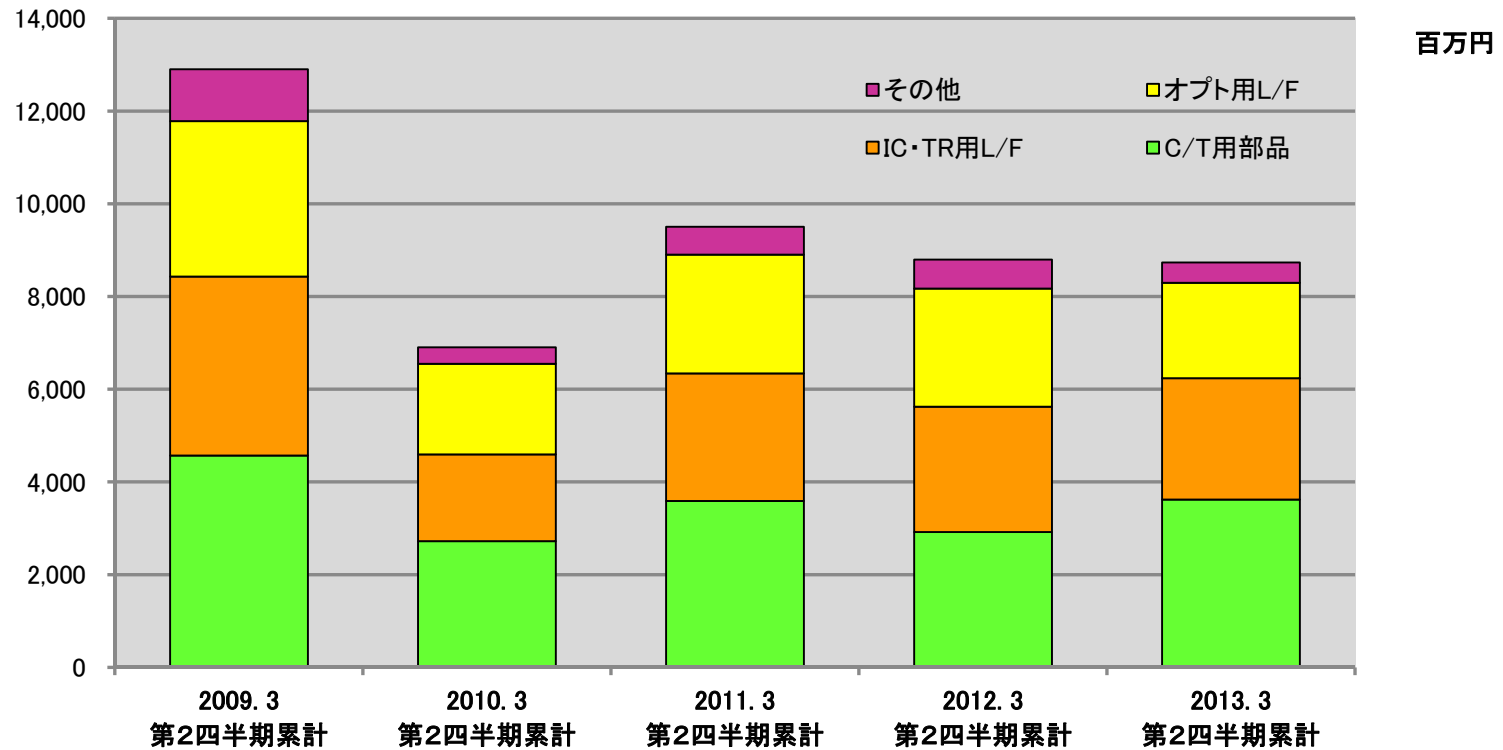
当社グループの主な需要先であります半導体・電子部品業界におきましては、テレビやパソコン市場の成長は鈍化してはいるものの、スマートフォンやタブレット型端末等のITデジタル分野を中心に需要は底堅く推移しております。

このような不安定な経営環境下において、当社グループは市場動向を見極めながら、積極的な営業展開を行うとともに、顧客のニーズに応えるべく生産性並びに品質の向上に注力して参りました。

しかしながら、主にリードフレームに関しては中国・台湾メーカー等の台頭により、市場での供給過剰が一層深刻化し、製品価格の下落を加速させる状況となり、売上高及び利益の下方圧力を押し退けるまでには至りませんでした。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は87億3千7百万円(前年同四半期比0.7%減)となりました。また、営業損失は2千8百万円(前年同四半期は営業利益1億4千9百万円)、経常損失は7千6百万円(前年同四半期は経常利益1億9百万円)、四半期純損失は1億4千2百万円(前年同四半期は四半期純利益7千8百万円)となりました。

## ■製品群別業績(売上高)



	2009.3 第2四半期累計	2010.3 第2四半期累計	2011.3 第2四半期累計	2012.3 第2四半期累計	2013.3 第2四半期累計	前期比
IC・TR用リードフレーム	3,858	1,871	2,753	2,703	2,617	3.2%減
オプト用リードフレーム	3,356	1,954	2,562	2,550	2,058	19.3%減
コネクタ用部品	4,572	2,725	3,589	2,920	3,621	24.0%増
その他	1,116	355	600	625	439	29.8%減
合計	12,903	6,907	9,505	8,800	8,737	0.7%減

### ① IC・トランジスタ用リードフレーム

当製品群は、車載向け、民生機器向けが主なものであります。車載用デバイス向けの受注が安定的に受注量確保している一方で、市場鈍化の影響から、総じて民生機器向けの電子部品の需要が低迷しております。その結果、当製品群の売上高は26億1千7百万円(前年同四半期比3.2%減)となりました。

### ② オプト用リードフレーム

当製品群は、車載、照明及びディスプレイ向けLED用リードフレームが主なものであります。民生を中心とした市場の低迷によるLEDの供給過剰状態が続いている事から、主要ユーザーを中心に在庫調整の動きが強まりました。その結果、当製品群の売上高は20億5千8百万円(同19.3%減)となりました。

### ③ コネクタ用部品

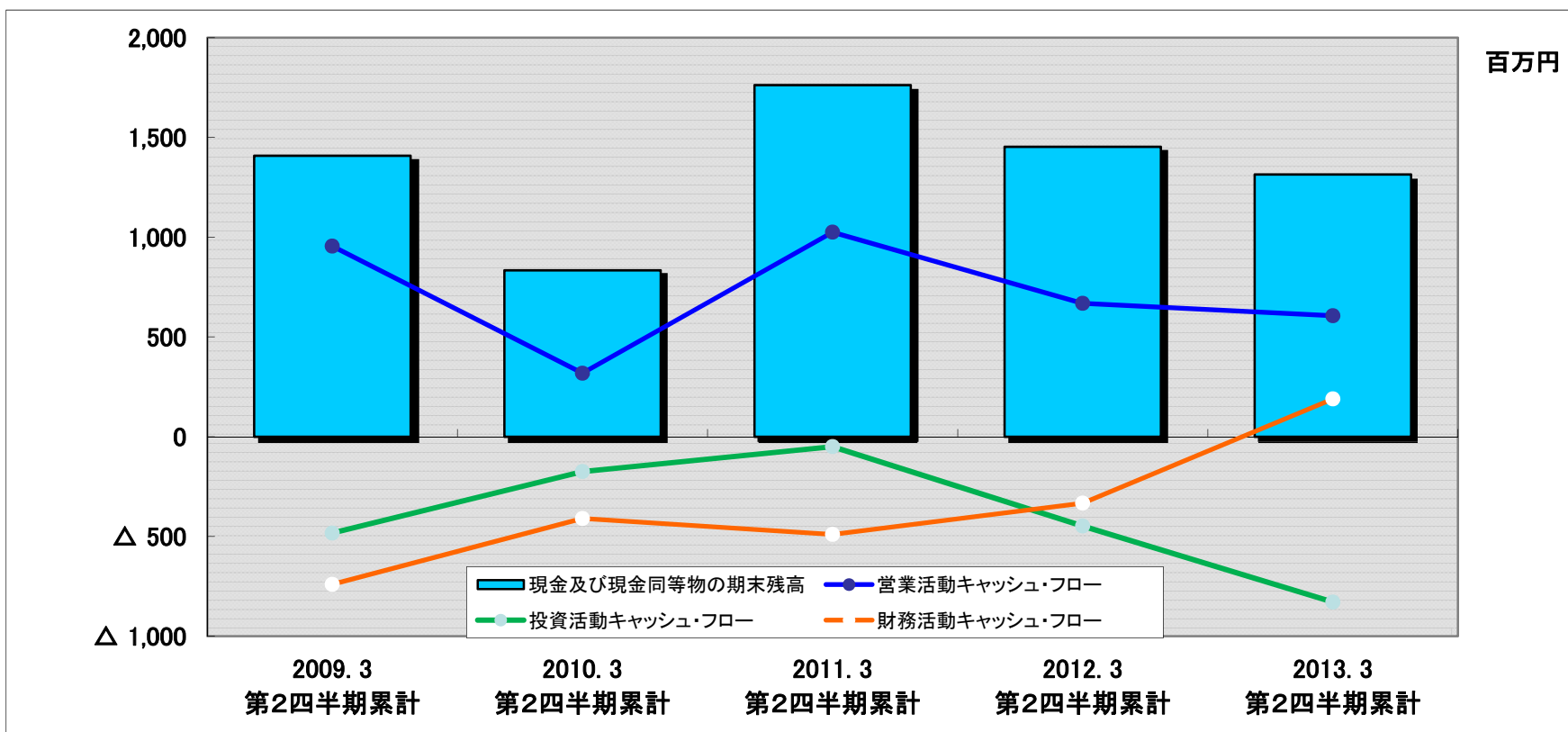
当製品群は、携帯電話・スマートフォン向け、デジタル家電向けが主なものであります。スマートフォンやタブレット型端末等のアイテムを中心に新興国の新規需要や先進国の買い替え需要が堅調に推移していることから、マイクロピッチコネクタ用部品の受注が増加傾向にあります。その結果、当製品群の売上高は36億2千1百万円(同24.0%増)となりました。

### ④ その他

その他の製品群としては、リレー用部品が主なものであります。当製品群の売上高は4億3千9百万円(同29.8%減)となりました。



# ■ キャッシュ・フロー



	2011. 3 第2四半期累計	2012. 3 第2四半期累計	2013. 3 第2四半期累計	前期比	2011.3期末	2012.3期末
営業活動キャッシュ・フロー	1,025	668	606	62	1,462	640
投資活動キャッシュ・フロー	△ 51	△ 448	△ 829	-381	△ 596	△ 743
財務活動キャッシュ・フロー	△ 490	△ 333	189	522	△ 541	△ 112
現金及び現金同等物の期末残高	1,762	1,453	1,314	-139	1,557	1,349

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前第2四半期連結会計期間末に比べ1億3千9百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には13億1千4百万円となりました。

当期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

▶営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は6億6百万円(前年同四半期比9.3%減)となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失1億2千3百万円の計上及び売上債権の増加1億5千8百万円による資金の減少、減価償却費5億3千8百万円及び仕入債務の増加3億6千2百万円による資金の増加によるものであります。

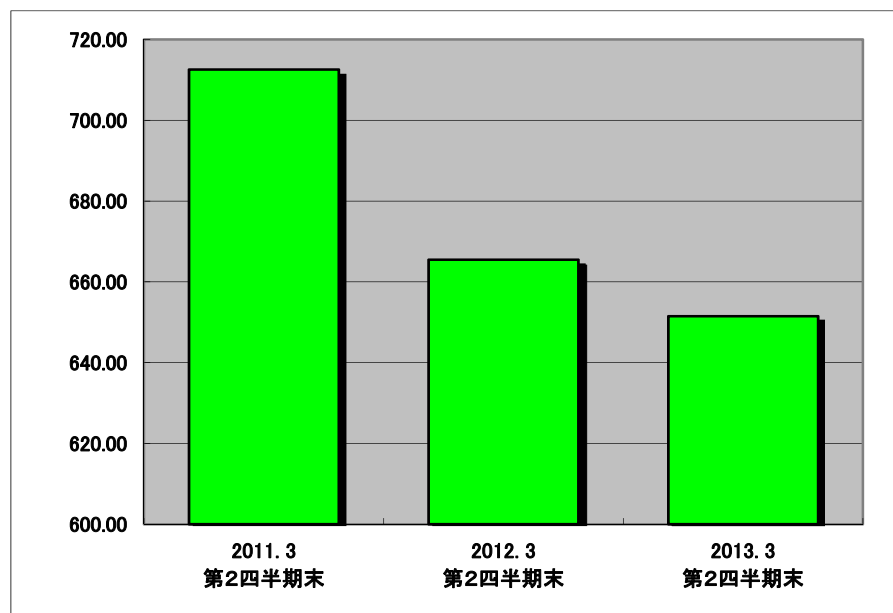
▶投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は8億2千9百万円(前年同四半期比84.9%増)となりました。これは主に有形固定資産の取得7億3百万円によるものであります。

▶財務活動によるキャッシュ・フロー

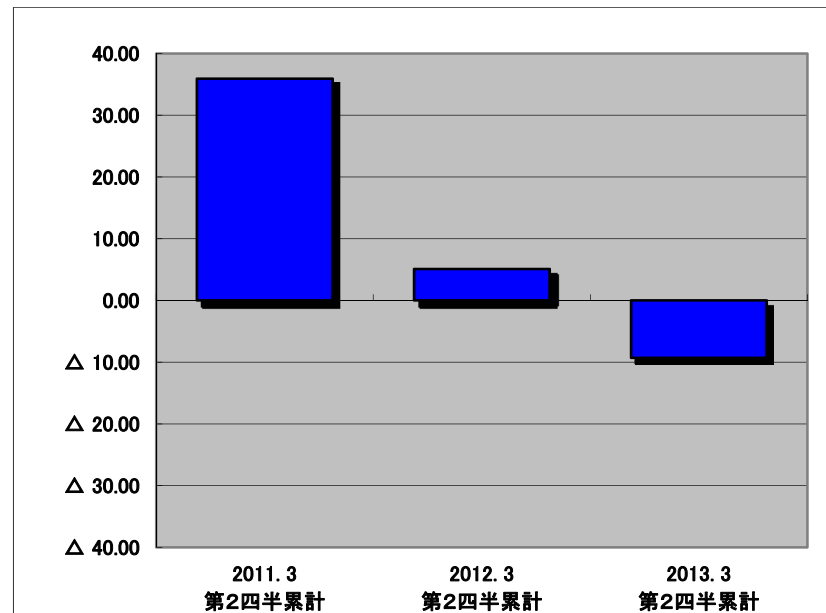
財務活動の結果得られた資金は1億8千9百万円(前年同四半期は3億3千3百万円の使用)となりました。これは主に短期借入金5億円の増加及び長期借入金2億1千1百万円の返済によるものであります。

1株当り純資産(連結)



1株当り当期純利益(連結)

円



	2011. 3 第2四半期累計	2012. 3 第2四半期累計	2013. 3 第2四半期累計	2011. 3期末	2012. 3期末
1株当り純資産(連結)	712.54	665.47	651.49	666.13	659.12
1株当り当期純利益(連結)	35.91	5.09	Δ9.29	14.73	4.29

## ○配当について

当社グループは、株主に対する利益還元を経営の最重要政策と位置づけており、将来の事業展開と経営基盤強化のために必要な内部留保を確保しつつ、利益配分を安定かつ継続的に実施することを重視し、利益水準や配当性向などを総合的に判断して、適切な利益配分を行っていくことを基本方針としております。

当期の第2四半期配当金につきましては、第2四半期の業績を踏まえ、誠に遺憾ではありますが見送りとさせていただきたく存じます。なお期末配当金につきましては現時点において期初予想から変更はありません。

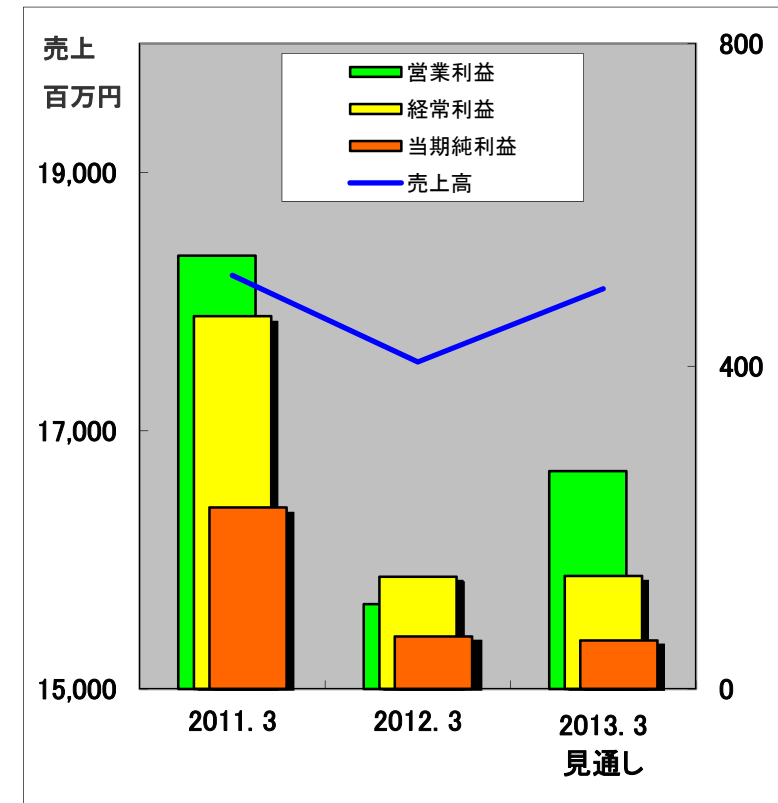
株主の皆様には深くお詫びを申し上げますとともに、今後の業績の回復を目指し努力して参る所存ですので引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2013年3月期  
の見通し

■通期業績予想(連結)

百万円

	2011. 3	2012. 3	2013. 3 見通し	前期比
売上高	18,204	17,533	18,100	3.2%増
営業利益	537	105	270	155.3%増
営業利益率	3.0%	0.6%	1.5%	0.9P増
経常利益	462	139	140	0.7%増
経常利益率	2.5%	0.8%	0.8%	
当期純利益	225	65	60	8.8%減
当期純利益率	1.2%	0.4%	0.3%	0.1P減



第3四半期以降の見通しにつきましては、復興需要等を背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待される一方で、欧州政府債務危機を巡る不可実性が高まっていることによる景気の下振れリスクが顕在すること、原発停止による電力供給の制約やデフレの影響が依然残っていることも留意する必要があります。

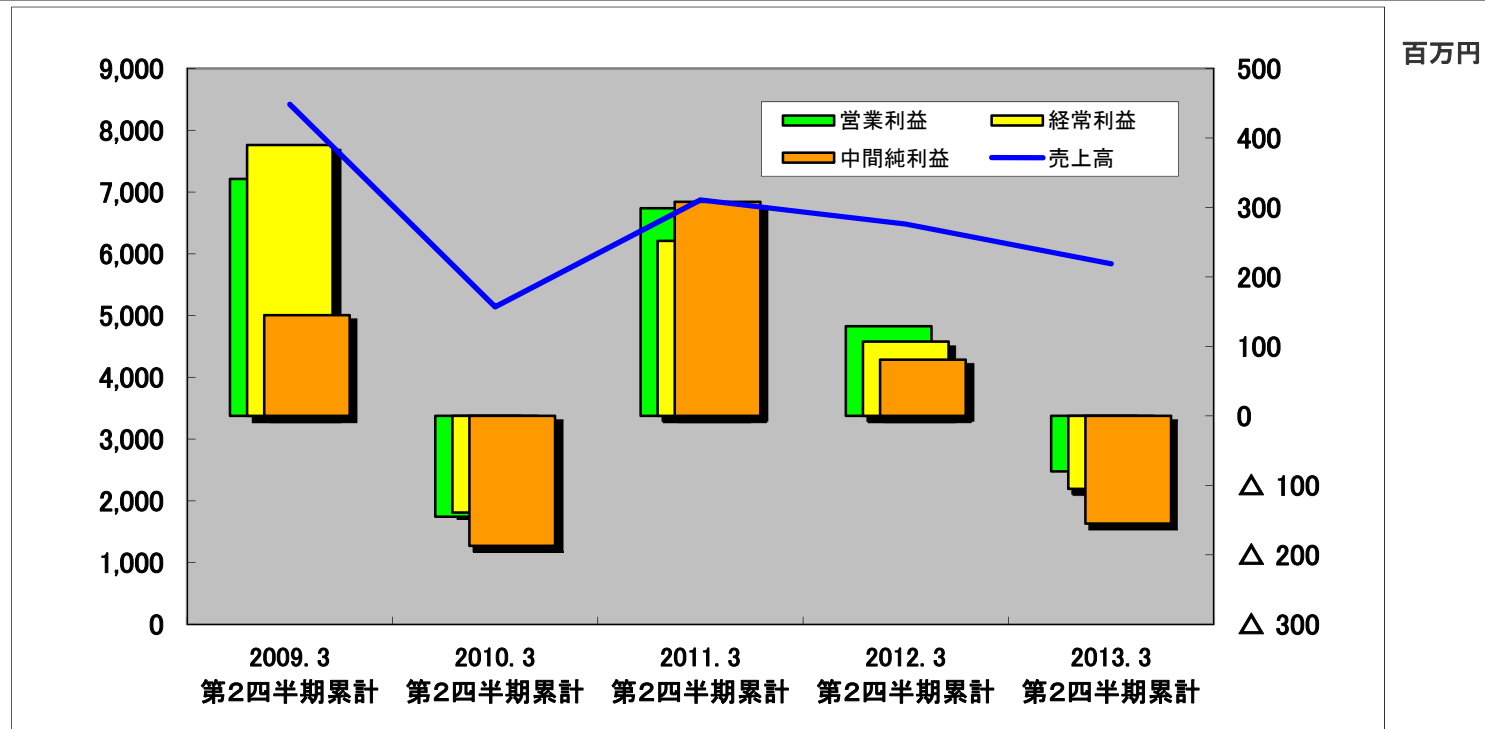
当社グループは、中期的な経営方針として掲げた項目の実現のために、特に年度ごとに経営重点課題を設定して全社的な取り組みを推進しております。新中期経営方針の二年目にあたる2012年度の経営重点課題としては、事業活動の中心となる「経営判断」「顧客対応」「モノ作り」の全ての過程においてスピードアップを図る事を掲げました。また、全社スローガンとして『スピードが最大の顧客サービス』を掲げ、当社グループの全ての従業員の力を一つにしてモノ作りに励んで参ります。

なお、通期の見通しにつきましては売上高は181億円(前連結会計年度比3.2%増)、営業利益2億7千万円(同155.3%増)、経常利益1億4千万円(同0.7%増)、当期純利益6千万円(同8.8%減)を見込んでおります。

補足資料



## ■単体の業績推移



	2011. 3 第2四半期累計	2012. 3 第2四半期累計	2013. 3 第2四半期累計	前期比	2011. 3期末	2012. 3期末
売上高	6,872	6,482	5,837	9.9%減	12,941	12,470
営業利益	299	129	△80	-	351	150
営業利益率	4.4%	2.0%	-	-	2.7%	1.2%
経常利益	252	107	△105	-	330	221
経常利益率	3.7%	1.7%	-	-	2.6%	1.8%
当期純利益	308	81	△155	-	123	153
当期純利益率	4.5%	1.3%	-	-	1.0%	1.2%



中期経営方針

経営品質の向上と  
新たな価値の創造

2012年度 経営重点テーマ

“スピード”が  
最大の顧客サービス

- ・ スピードを活かした経営判断
- ・ スピードを活かした顧客対応
- ・ スピードを活かしたモノ造り

2011年度より5カ年の中期経営方針として『経営品質の向上と新たな価値の創造』を掲げ、今後わが社がグローバルに発展し、【高技術】【高効率】【高収益】の企業グループへ脱皮するための改革を全社レベルで推進しております。

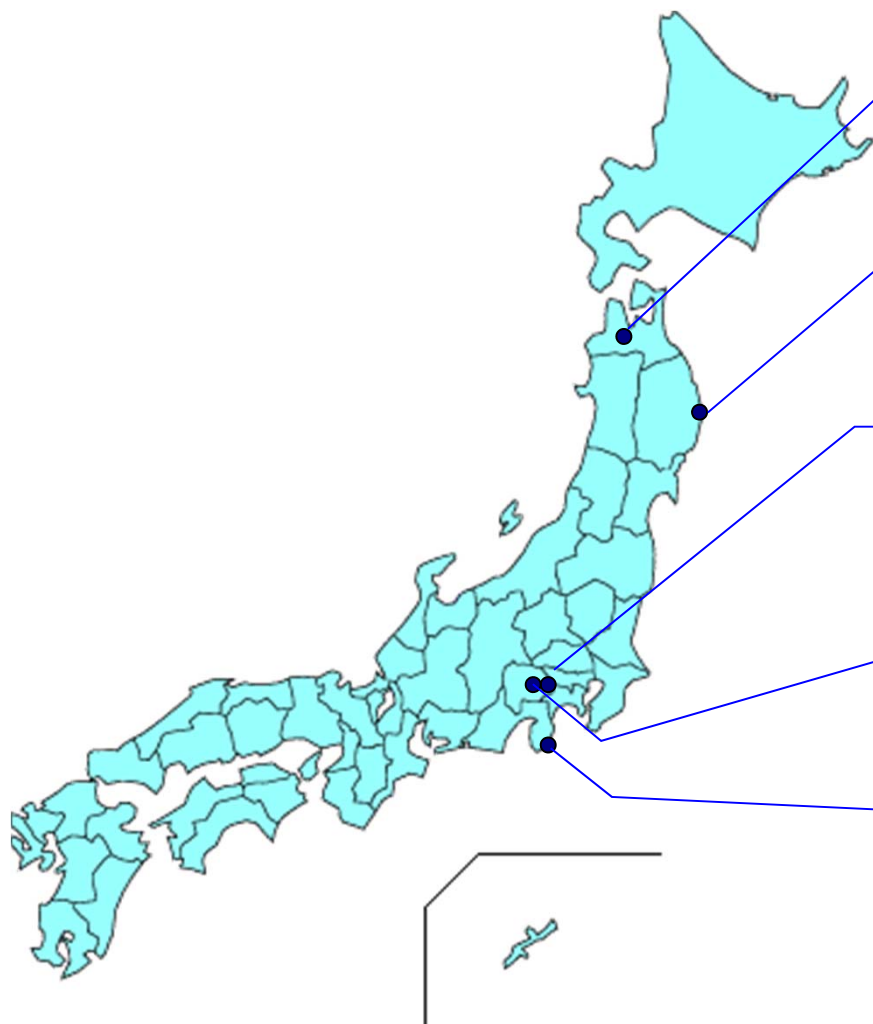




当社グループが対処すべき課題として、中期的な経営方針として掲げた項目の実現のために、特に年度毎に経営重点課題を設定して全社的な取り組みを推進しております。

新中期経営方針の二年目にあたる2012年度の経営重点課題としては、事業活動の中心となる「経営判断」「顧客対応」「モノ造り」の全ての過程においてスピードアップを図る事を掲げました。

また、全社スローガンとして「スピードが最大の顧客サービス」を掲げ、当社グループの全ての従業員の力を一つにして、顧客や市場に対しての感度を一段と高め、《高技術》×《高効率》×《高収益》な企業グループを目指しモノ造りに専心して参ります。



・津軽工場

青森県五所川原市大字漆川字玉椿191-1  
TEL.0173-33-0570 FAX.0173-34-5206

・岩手工場

岩手県上閉伊郡大槌町大槌第10地割39  
TEL.0193-42-8511 FAX.0193-42-8513

・本社/上野原工場

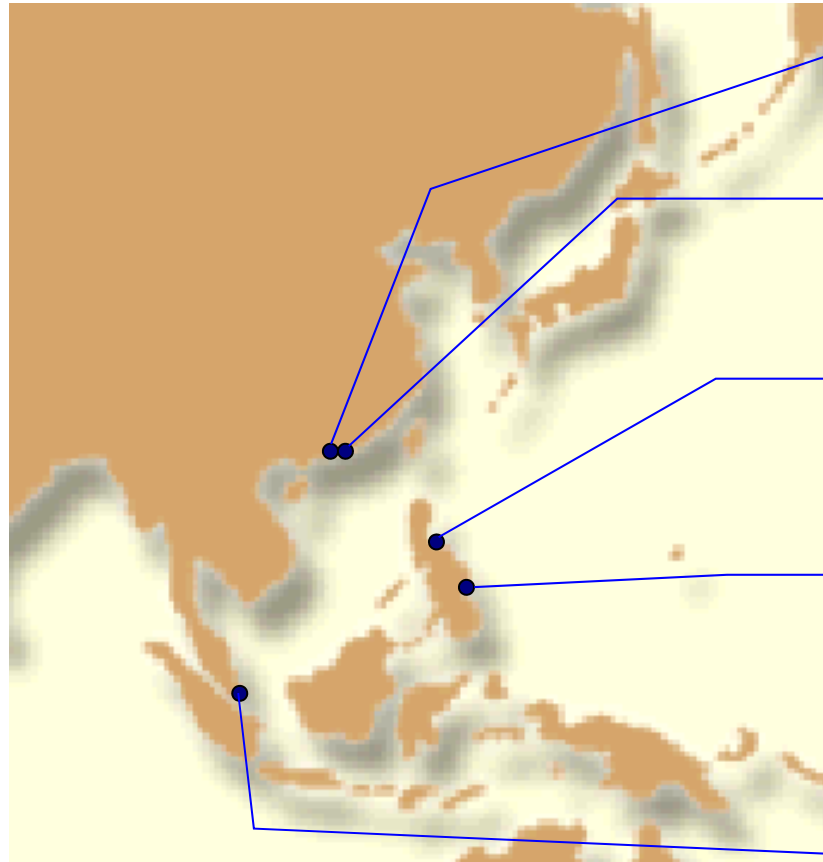
山梨県上野原市上野原8154-19  
TEL.0554-62-5111 FAX.0554-63-4193

・塩山工場

山梨県甲州市塩山熊野666  
TEL.0553-32-1111 FAX.0553-32-1159

・下田工場

静岡県下田市加増野字大古隅12-1  
TEL.0558-28-1550 FAX.0558-28-1552



▪ **ZHONGSHAN ENOMOTO Co.,Ltd.**  
広東省中山市火炬開發区逸仙工業区  
TEL.+86-760-8533-5111 FAX.+86-760-8533-5113

▪ **ENOMOTO HONG KONG Co.,Ltd**  
香港九龍梳士巴利道3号星光行1805室  
TEL.+852-2199-7848 FAX.+852-2199-7918

▪ **ENOMOTO PHILIPPINE MANUFACTURING Inc.**  
PEZA-Gateway Business Park Javalera Gen.Cavite Philippine.  
TEL.+63-46-433-0263 FAX.+63-46-433-0264

▪ **ENOMOTO PHILIPPINE MANUFACTURING Inc.**  
**CEBU OPERATIONS**  
Cebu Light Industrial Park, Special Economic Zone, Washington Road,  
Basak, Lapu-Lapu City, Cebu, Philippines 6015  
TEL.+63-32-341-2223 FAX.+63-32-341-2228

▪ **ENOMOTO PRECISION ENGINEERING(S)Pte.Ltd.**  
30Loyang Drive,Singapore 508945  
TEL.+65-6542-4542 FAX.+65-6542-2484

## 注意事項

事業の展望、業績予想等の将来の動向にかかる記載につきましては、歴史的事実ではないため、不確定な要素を含んでおります。

現在入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があることをご了承願います。

**ENOMOTO Co.,Ltd.**